

# 原稿

## 凡例

- ・「原稿」については、出版社への提出原稿を「入稿原稿」とし、その他を、発表作品の全部または一部と判明した「発表作品草稿」、発表作品の特定できない「草稿」（完成稿、未完成稿）に細分類する。いずれも手稿である。
- ・各細分類中は、表題の五十音順に排列する。
- ・原稿に表題のないものは、「無題」とし、書き出しの部分を「～（本文書き出し）～」で示す。
- ・原稿に執筆者の記載のないものは、（由起しげ子）とするが、作家活動の初期に執筆されたと思われる童話については（伊原しげ子）とする。
- ・「草稿」に「中断」と記したものは、書きさしの状態になっているものを指す。

| 資料<br>番号        | 表題                                     | 著者名   | 日付等     | 用紙 枚数 筆記具等               | 注記 内容   |
|-----------------|--|-------|---------|--------------------------|---|
| 入稿原稿（出版社への提出原稿） |  |       |         |                          |   |
| 1               | 青い海の記憶                                 | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×38枚 ペン・鉛筆           | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『作品』5 [1950年]<br>(印刷物2参照)                                    |
| 2               | 警視総監の笑ひ                                | 由起しげ子 | 1949年9月 | 400字×108枚 ペン             | 編集者の青鉛筆、赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『文学界』3・7 [1949年]<br>(印刷物150参照)                           |
| 3               | 職場の娘たち 第1話<br>わたしはCMガール                | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×30枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』16・8 [1960年]<br>原稿の表題「魔の夜」<br>(印刷物59参照)                  |
| 4               | 職場の娘たち 第2話<br>ワレいやつ                    | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×26枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』16・9 [1960年]<br>(印刷物59参照)                                |
| 5               | 職場の娘たち 第3話<br>告げぬ恋                     | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×26枚 ペン・鉛筆           | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』16・10 [1960年]<br>(印刷物60参照)                               |
| 6               | 職場の娘たち 第4話<br>あらしの男                    | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×27枚 ペン・鉛筆           | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』16・11 [1960年]  |
| 7               | 職場の娘たち 第5話<br>恋の休暇                     | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×27枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』16・12 [1960年]  |
| 8               | 職場の娘たち 第7話<br>すてきな誕生日:花のデパート・ガール       | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×29枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』17・2 [1961年]<br>(印刷物62参照、表題小異有り)                         |
| 9               | 職場の娘たち 第8話<br>結ばれる日まで:ある女性カメラマンの場合     | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×26枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』17・3 [1961年]   |
| 10              | 職場の娘たち 第9話<br>黄金の筈                     | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×30枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』17・4 [1961年]<br>(印刷物63参照、表題小異有り)                         |
| 11              | 職場の娘たち 第10話<br>美しい芽生え:キーバンチャーの青春       | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×28枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』17・5 [1961年]<br>(印刷物64参照)                                |
| 12              | 職場の娘たち 第11話<br>不思議な夜をくれた男:あるセールス・ガールの話 | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×28枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』17・6 [1961年]<br>(原稿42参照)                                 |
| 13              | 職場の娘たち 第12話<br>東京のひろい空                 | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×30枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』17・7 [1961年]   |
| 14              | 職場の娘たち 第13話<br>青葉の旅から:ガイド・ガールの場合       | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×28枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』17・8 [1961年]<br>(原稿43参照)                                 |
| 15              | 職場の娘たち 第14話<br>彼女は社長秘書:社長秘書の場合         | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×28枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』17・9 [1961年]<br>(印刷物65参照、表題小異有り)                         |
| 16              | 職場の娘たち 第15話<br>朝霧の決闘:あるスクリプターの場合       | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×29枚 ペン・鉛筆           | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』17・10 [1961年]  |
| 17              | 職場の娘たち 第16話<br>夢の追跡者                   | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×28枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』17・11 [1961年]  |
| 18              | 職場の娘たち 第17話<br>幻想の港:あるホテル・メイドの場合       | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×28枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『平凡』17・12 [1961年]<br>(原稿44参照)                                |
| 19              | 人の生き死に                                 | 由起しげ子 | ナシ      | 400字×7枚 ペン               | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『新潮』58・9 [1961年]<br>表題「外村さんの死と私」を消し「人の生き死に」に変更。<br>(印刷物93参照) |
| 20              | 本の話                                    | 由起しげ子 | 1949年3月 | 400字×115枚<br>200字×14枚 ペン | 『作品』3 [1949年]<br>「本の話」全文の原稿。<br>(印刷物1、97、原稿26、27、33、57、その他自筆131参照)                |
| 21              | リヴィエラの雪                                | 由起しげ子 | ナシ      | 200字×57枚 ペン              | 編集者の赤鉛筆による書き入れ有り。<br>『小説公園』1・5 [1950年]<br>1枚目に「小説公園」の印。<br>(原稿62参照)               |

| 発表作品草稿 |                                  |         |    |                             |   |
|--------|----------------------------------|---------|----|-----------------------------|---|
| 22     | 赤い部屋                             | 由起しげ子   | ナシ | 400字×68枚 ペン・鉛筆・赤鉛筆          | 『文学界』4・3 [1950年]  |
| 23     | 赤坂の姉妹                            | (由起しげ子) | ナシ | 400字×8枚 ペン                  | 『小説新潮』14・12 [1960年]<br>後半8枚のみ。<br>(印刷物122参照)                                      |
| 24     | 雨の日                              | (伊原しげ子) | ナシ | ①400字×10枚<br>②200字×1枚<br>ペン | 『春を告げる花』(時事通信社、1950年刊)<br>所収<br>①「雨の日」②書き出し「～二度重ねたために～」②は別作品の草稿カ。                 |
| 25     | 雨の日の客                            | 由起しげ子   | ナシ | 400字×27枚 ペン・青鉛筆             | 『週刊朝日別冊』12 [1956年]  |
| 26     | あるクリスマスまで 第一章 第二章                | 由起しげ子   | ナシ | 200字×48枚 ペン                 | 「本の話」第一章 第二章に相当。<br>(印刷物1、原稿20、27、33、57、その他自筆131参照)                               |
| 27     | あるクリスマスまで 第三章 第四章                | (由起しげ子) | ナシ | 200字×20枚 ペン・鉛筆              | 「本の話」第三章 第四章に相当。<br>(印刷物1、原稿20、26、33、57、その他自筆131参照)                               |
| 28     | ある殺意                             | (由起しげ子) | ナシ | 400字×54枚 ペン                 | 『別冊クイーンマガジン』2・2 [1960年]<br>(印刷物25、126参照)  |
| 29     | 漁火                               | (由起しげ子) | ナシ | 400字×89枚 ペン・鉛筆・赤鉛筆          | 『小説新潮』13・3 [1959年]<br>(印刷物28参照)   |
| 30     | いたづら                             | (由起しげ子) | ナシ | 400字×20枚 ペン・鉛筆              | 『週刊女性自身』3・11 [1960年]カ。  |
| 31     | おぢいさんの靴屋                         | (由起しげ子) | ナシ | 200字×22枚 ペン                 | 『少国民の友』23・9 [1947年]   |
| 32     | 科学への欲求                           | (由起しげ子) | ナシ | 400字×8枚 ペン                  | 『サンデー毎日』29・37 [1950年]   |
| 33     | クリスマスまで                          | (由起しげ子) | ナシ | 200字×8枚 ペン・鉛筆               | 「あるクリスマスまで」の元稿カ。<br>(印刷物1、原稿20、26、27、57、その他自筆131参照)                               |
| 34     | 契約結婚                             | (由起しげ子) | ナシ | 400字×85枚 ペン                 | 『婦人画報』663 [1959年]<br>(印刷物151、152参照)   |
| 35     | 告別                               | 伊原しげ子   | ナシ | 200字×174枚 ペン                | 『文学界』5・3 [1951年]<br>原稿の表題は「送別」、発表時に改題。<br>執筆者「伊原しげ子」と明記。<br>原稿36の元稿カ。<br>(原稿36参照) |
| 36     | 告別                               | (由起しげ子) | ナシ | 200字×142枚 ペン                | 『文学界』5・3 [1951年]<br>(原稿35参照)  |
| 37     | 困った人たち                           | (由起しげ子) | ナシ | 400字×42枚 ペン                 | 『週刊朝日別冊』45 [1961年]  |
| 38     | コクリコ夫人 第一回<br>不思議な求婚者            | (由起しげ子) | ナシ | 400字×4枚 ペン・鉛筆               | 『婦人画報』556 [1951年]<br>原稿の表題は「求婚者」<br>(印刷物47、48参照)                                  |
| 39     | コクリコ夫人                           | (由起しげ子) | ナシ | 400字×3枚 ペン                  | 「コクリコ夫人 第二回」『婦人画報』557<br>[1951年]の一部分を単行本化にあたって<br>訂正した草稿。<br>(印刷物47、48参照)         |
| 40     | ざくろの庭                            | 伊原しげ子   | ナシ | ①200字×10枚<br>②200字×3枚<br>ペン | 『婦人朝日』2・5 [1947年]所収<br>①表題「石榴」②表題「石榴」うち1枚に「伊原しげ子」と明記。②は①の草稿カ。                     |
| 41     | 職場の娘たち 第6話<br>夢の魔術師              | (由起しげ子) | ナシ | 400字×26枚 ペン                 | 『平凡』17・1 [1961年]<br>(印刷物61参照)   |
| 42     | 職場の娘たち 第11話<br>ふしぎな夜をくれた男        | (由起しげ子) | ナシ | 400字×27枚 ペン                 | 『平凡』17・6 [1961年]<br>(原稿12参照)  |
| 43     | 職場の娘たち 第13話<br>青葉の旅から            | (由起しげ子) | ナシ | 400字×25枚 ペン                 | 『平凡』17・8 [1961年]<br>(原稿14参照)  |
| 44     | 職場の娘たち 第17話<br>幻想の港:あるホテル・メイドの場合 | (由起しげ子) | ナシ | 400字×26枚 ペン                 | 『平凡』17・12 [1961年]<br>(原稿18参照)   |



|    |                     |         |            |                         |  |
|----|---------------------|---------|------------|-------------------------|--|
| 45 | 職場の娘たち 第18話<br>東京の夜 | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×26枚 ペン             | 『平凡』18・1 [1962年]   |
| 46 | 大事な人                | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×15枚 ペン・赤鉛筆         | 『小説公園』4・1 [1953年]<br>p.1に「浩司という名はそれほどすきではありません お変え下さりませ 耕造？」と記載。 |
| 47 | 脱走                  | 立花茜     | ナシ         | 368字×11枚 ペン             | 「脱走」の元稿カ。執筆者「立花茜」と明記。<br>(印刷物71、原稿48参照)                          |
| 48 | 脱走                  | (由起しげ子) | ナシ         | 200字×153枚 ペン・鉛筆・赤鉛筆・青鉛筆 | 『別冊八雲』1・2(ただし目次「脱走」、本文の表題「脱出」) [1950年]<br>(印刷物71、原稿47参照)         |
| 49 | 罪と愛 一章              | (由起しげ子) | 1961年5月    | 400字×57枚 ペン             | 『婦人画報』683 [1961年]<br>(印刷物77参照)                                   |
| 50 | 罪と愛 五章 六章           | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×58枚 ペン             | 『婦人画報』685 [1961年]<br>(印刷物79参照)                                   |
| 51 | 罪と愛 十三章 十四章 終章      | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×83枚 ペン・鉛筆          | 『婦人画報』691 [1961年]  |
| 52 | 波と炎                 | 由起しげ子   | ナシ         | 400字×44枚 ペン             | 『主婦の友』48・5 [1964年]   |
| 53 | 待ちぼうけの幸福            | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×37枚 ペン・鉛筆・赤鉛筆      | 『オール読物』9・7 [1954年]   |
| 54 | みけとらとこいぬ            | 伊原しげ子   | 1947年      | 400字×6枚 ペン              | 『小学三年生』2・10 [1948年]<br>執筆者「伊原しげ子」と明記。                            |
| 55 | 未知からの誘ひ             | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×27枚 ペン・鉛筆          | 『スタイル』19・2 [1956年]   |
| 56 | 身上相談                | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×33枚 ペン・鉛筆          | 『小説公園』4・10 [1953年]<br>(印刷物100参照)                                 |
| 57 | 無題(～私は眠りにおちた姉の病床を～) | (由起しげ子) | ナシ         | 200字×64枚 ペン・鉛筆          | 「あるクリスマスまで」の元稿カ。<br>(印刷物1、原稿20、26、27、33、その他自筆131参照)              |
| 58 | 無題(～含む明確、端嚴さの前には～)  | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×5枚 ペン              | 『朝日評論』5・8-9 [1950年]<br>「私の理論物理学研究」後半部分カ。                         |
| 59 | 名演奏家クロイツァー教授訪問記     | (由起しげ子) | 1951年4月26日 | 400字×14枚 ペン・鉛筆          | 『読売新聞』昭和26年4月30日付<br>原稿の表題は「クロイツァー」                              |
| 60 | 野性の母                | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×7枚 ペン              | 『文芸春秋』29・1 [1951年]<br>原稿の表題は「腕くらべ」。発表時に改題。                       |
| 61 | 雪に埋つたジープ            | 伊原しげ子   | ナシ         | 200字×43枚 ペン             | 『婦人朝日』2・2 [1947年]<br>原稿の表題は「おほ雪」。発表時に改題。<br>執筆者「伊原しげ子」と明記。       |
| 62 | リヴィエラの雪             | 由起しげ子   | ナシ         | 200字×45枚 ペン             | 登場人物名等、完成稿とは記載が異なる点有り。<br>(原稿21参照)                               |
| 草稿 |                     |         |            |                         |  |
| 63 | 縁談                  | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×9枚 ペン              |  |
| 64 | お人形のワルツ             | (伊原しげ子) | ナシ         | 200字×5枚 ペン              |  |
| 65 | 小母さんの奮斗料理           | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×5枚 ペン・鉛筆           |  |
| 66 | 音楽と私                | 由起しげ子   | ナシ         | 400字×7枚 ペン・鉛筆・赤鉛筆       |  |

|    |                                |         |            |   |  |
|----|--------------------------------|---------|------------|---|--|
| 67 | 傘                              | (由起しげ子) | ナシ         | ①200字×6枚<br>②200字×22枚<br>③200字×4枚<br>④200字×4枚<br>⑤200字×3枚<br>⑥200字×1枚<br>ペン | ①表題「傘」書き出し「～この傘は～」②「～私が北出を～」③「～散策のとき～」④「～小さい姉と～」⑤「～あなたは～」⑥「～九月三日～」 |
| 68 | 佳名子の冒険                         | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×11枚 ペン   |  |
| 69 | 鮭                              | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×2枚<br>200字×33枚 ペン  |  |
| 70 | 山中暦日                           | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×13枚 ペン・鉛筆・赤鉛筆・青鉛筆  |  |
| 71 | 辞退                             | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×4枚 ペン  |  |
| 72 | 雀のお手紙                          | (由起しげ子) | 1947年3月23日 | 200字×2枚 ペン  | 全文カタカナで書かれた童話。   |
| 73 | 亭主帰らず                          | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×43枚 ペン・鉛筆  |  |
| 74 | 軟派探知器                          | 由起しげ子   | ナシ         | 400字×5枚 ペン・鉛筆・赤鉛筆   | 5枚目は前半破損。  |
| 75 | 碧子の冒険                          | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×8枚 ペン  |  |
| 76 | 無題(～ああ、この人も遂に死ぬのか～)            | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×10枚 ペン   |  |
| 77 | 無題(～秋子は行夫が自分と鎌倉で～)             | (由起しげ子) | ナシ         | ①200字×42枚<br>②200字×4枚<br>③200字×7枚<br>ペン                                     | 書き出し①「～秋子は行夫が～」②「～床の間の上にも～」③「～いままで円い顔だちの～」                         |
| 78 | 無題(～伊佐夫少年が～)                   | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×1枚 ペン  |  |
| 79 | 無題(～犬によって～)                    | (由起しげ子) | ナシ         | ①400字×4枚<br>②400字×1枚<br>③400字×1枚<br>ペン                                      | 書き出し①「～犬によって～」②「～椎の実プロという～」③「～デコラティブで～」                            |
| 80 | 無題(～今考えてみると、私はずいぶん昔風な育ちかたをした～) | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×3枚 ペン  | 2枚目7行で中断。3枚目は教育論に関するメモ。  |
| 81 | 無題(～上にはなくむしろ～)                 | (由起しげ子) | ナシ         | 200字×10枚 ペン   |  |
| 82 | 無題(～奥さんと若い女中さんが～)              | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×12枚 ペン・赤鉛筆   |  |
| 83 | 無題(～大人の～)                      | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×7枚 ペン  |  |
| 84 | 無題(～科学が今日のめざましい～)              | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×25枚 ペン   |  |
| 85 | 無題(～柿の木のある家～)                  | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×2枚 ペン  |  |
| 86 | 無題(～彼女は雑然といふ段階に～)              | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×5枚 ペン・鉛筆   |  |
| 87 | 無題(～元来、愛というものは～)               | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×4枚 ペン  |  |
| 88 | 無題(～きなやんでみた原稿用紙の～)             | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×1枚 ペン  |  |
| 89 | 無題(～くに子は～)                     | (由起しげ子) | ナシ         | 400字×23枚 ペン   |  |

|     |                                  |         |    |   |   |
|-----|----------------------------------|---------|----|---|---|
| 90  | 無題(～コーヒーという名称を～)                 | (由起しげ子) | ナシ | 400字×1枚 ペン                              |   |
| 91  | 無題(～五月十五日 晴 気温二十三度の感じ～)          | (由起しげ子) | ナシ | 400字×12枚 ペン                             |   |
| 92  | 無題(～子供の頃、関西の淋しい海岸の村に～)           | (由起しげ子) | ナシ | 400字×2枚 ペン                              |   |
| 93  | 無題(～これが目まいというものだろうか～)            | (由起しげ子) | ナシ | 400字×82枚 ペン                             | 書きかけの原稿8枚と74枚の白紙。                                   |
| 94  | 無題(～「さう・・・」まり子は眼を宙に～)            | (由起しげ子) | ナシ | 400字×10枚 ペン・鉛筆                          |   |
| 95  | 無題(～三月下旬、伊勢湾に～)                  | (由起しげ子) | ナシ | 400字×10枚 ペン                             |   |
| 96  | 無題(～三月のことである。～)                  | (由起しげ子) | ナシ | 400字×1枚 ペン                              |   |
| 97  | 無題(～ショパンの作品は～)                   | (由起しげ子) | ナシ | 400字×5枚 ペン・鉛筆                           | ショパンについての原稿1枚。美術論についてのメモ2枚。小説の構想1枚。時局についての原稿構想メモ1枚。 |
| 98  | 無題(～生活は、うんと便利にするか、～)             | (由起しげ子) | ナシ | 400字×1枚 ペン                              | 5行で中断。  |
| 99  | 無題(～そのほか～)                       | (由起しげ子) | ナシ | 400字×2枚 ペン                              |   |
| 100 | 無題(～それから十七年ものあいだ、～)              | (由起しげ子) | ナシ | 400字×24枚 ペン                             |   |
| 101 | 無題(～それぞれの社会、または国家の形態は～)          | (由起しげ子) | ナシ | 400字×3枚 ペン                              |   |
| 102 | 無題(～それならば～)                      | (由起しげ子) | ナシ | 400字×1枚 ペン・赤鉛筆                          |   |
| 103 | 無題(～それはある女が、愛する男を独占したい一心から～)     | (由起しげ子) | ナシ | 400字×17枚 ペン                             |   |
| 104 | 無題(～たのを一しょにはりつけて～)               | (由起しげ子) | ナシ | 400字×4枚 ペン                              |   |
| 105 | 無題(～誰にも話したことはないが～)               | (由起しげ子) | ナシ | 400字×69枚 鉛筆                             |   |
| 106 | 無題(～小さい時から今日まで～)                 | (由起しげ子) | ナシ | ①400字×4枚<br>②400字×10枚<br>③400字×7枚<br>ペン | 書き出し①「～小さい時から今日まで～」<br>②「～女性の問題について～」③「～女、よく泣く唯一の～」 |
| 107 | 無題(～近づいて行って～)                    | (由起しげ子) | ナシ | 400字×1枚 ペン                              | 1枚の原稿用紙に内容の続かない文章が散文のように書かれたもの。                     |
| 108 | 無題(～地球という星の運命は過去に何億年もあり、～)       | (由起しげ子) | ナシ | 400字×4枚 ペン                              |   |
| 109 | 無題(～地上の人間～)                      | (由起しげ子) | ナシ | 400字×37枚 ペン                             | 37枚目の裏に「ラヂオドラマ風にするならご参考にお送りします」とのメモ書き有り。            |
| 110 | 無題(～月の写真が、はっきり寫(うつ)されて～)         | (由起しげ子) | ナシ | 400字×2枚 ペン                              | 2枚目10行で中断。  |
| 111 | 無題(～どんな書物を読み、どんな影響を受けたか～)        | (由起しげ子) | ナシ | 400字×2枚 ペン                              | 6行で中断。1枚白紙。   |
| 112 | 無題(～には器楽曲を～)                     | (由起しげ子) | ナシ | 400字×1枚 ペン・赤鉛筆                          |   |
| 113 | 無題(～姉さんに案内されて私が待っている部屋に入って来たが、～) | (由起しげ子) | ナシ | 400字×5枚 ペン                              |   |



|     |                                 |         |    |                            |  |
|-----|---------------------------------|---------|----|----------------------------|--|
| 114 | 無題(～猫を一どきに四ヒキも～)                | (由起しげ子) | ナシ | 400字×2枚 ペン                 |  |
| 115 | 無題(～残った人たちは今までの窮屈さを～)           | (由起しげ子) | ナシ | 200字×8枚 ペン                 |  |
| 116 | 無題(～の代ごとに～)                     | (由起しげ子) | ナシ | 400字×1枚 ペン                 | 5行で中断、うち後半3行はペンで抹消、全体にも斜線。                   |
| 117 | 無題(～則子の～)                       | (由起しげ子) | ナシ | 400字×1枚 ペン・鉛筆・赤鉛筆          | 原稿用紙の後半破損。                                   |
| 118 | 無題(～ピアノの前で～)                    | (由起しげ子) | ナシ | 400字×6枚 ペン・鉛筆・赤鉛筆          |  |
| 119 | 無題(～二月も前のことである。～)               | (由起しげ子) | ナシ | 400字×1枚 ペン                 |  |
| 120 | 無題(～方則の上に安住し～)                  | (由起しげ子) | ナシ | 400字×14枚 ペン                |  |
| 121 | 無題(～僕は行きますよ。～)                  | (由起しげ子) | ナシ | 400字×3枚 ペン                 |  |
| 122 | 無題(～見ると兵隊が～)                    | (由起しげ子) | ナシ | 400字×5枚 鉛筆                 |  |
| 123 | 無題(～息子の嫁千沙子の～)                  | (由起しげ子) | ナシ | 400字×15枚 ペン                |  |
| 124 | 無題(～娘時代に、私がどんな本を初めて読んだかということは～) | (由起しげ子) | ナシ | ①400字×2枚<br>②400字×1枚<br>ペン | 書き出し①「～娘時代に、～」②「～若い頃にどんな本を～」                 |
| 125 | 無題(～もう七八年も前のことです。～)             | (由起しげ子) | ナシ | 400字×4枚 ペン                 | 1枚目の原稿用紙の後半破損。3枚目以降は白紙。                      |
| 126 | 無題(～モモコが来てくれると思ったから～)           | (由起しげ子) | ナシ | 400字×42枚 ペン                |  |
| 127 | 無題(～由起しげ子でございます。～)              | (由起しげ子) | ナシ | ①400字×1枚<br>②400字×3枚<br>ペン | 書き出し①「～由起しげ子でございます。私の～」②「～由起しげ子でございます。健康法の～」 |
| 128 | 無題(～よく晴れた朝だった～)                 | (由起しげ子) | ナシ | 400字×6枚 ペン                 |  |
| 129 | 無題(～禮拝堂の中を～)                    | (由起しげ子) | ナシ | 400字×2枚 ペン・鉛筆・赤鉛筆          | 1枚目全体に斜線。                                    |
| 130 | 無題(～六月の或る夜、～)                   | (由起しげ子) | ナシ | 400字×1枚 ペン                 | 3行のみで中断。                                     |
| 131 | 無題(～和装でも洋装でもよい。～)               | (由起しげ子) | ナシ | 400字×6枚 ペン                 |  |
| 132 | 無題(～私がいま入ってゐる歯科の病院は ～)          | (由起しげ子) | ナシ | 400字×4枚 ペン                 |  |
| 133 | 無題(～私なんか、ただあたりまえに生きているだけですわ。～)  | (由起しげ子) | ナシ | 400字×1枚 ペン                 |  |
| 134 | 無題(～私には原稿用紙の枠目の中に～)             | (由起しげ子) | ナシ | 400字×3枚 ペン・鉛筆              |  |
| 135 | 無題(～私の祖母は天保生れ、～)                | (由起しげ子) | ナシ | 400字×2枚 ペン                 | 2枚目3行で中断。                                    |
| 136 | 無題(～私の父は八十六才で亡った。～)             | (由起しげ子) | ナシ | 200字×6枚 ペン                 | 全ページに赤鉛筆で斜線有り。                               |
| 137 | 無題(～私はおにいちゃんに～)                 | 由起しげ子   | ナシ | 400字×8枚 ペン・鉛筆              |  |

|     |             |         |         |                           |   |
|-----|-------------|---------|---------|---------------------------|---|
| 138 | 無題(～私は今朝の～) | (由起しげ子) | ナシ      | 400字×4枚 ペン・鉛筆・<br>赤鉛筆・青鉛筆 |   |
| 139 | 雪           | 伊原しげ子   | 1946年9月 | 200字×6枚 ペン                | 6枚目裏に「原稿 今朝かきました これをさ<br>きにおよみ下さればうれしいと存じます こ<br>んなものを五つ六つ書いてまとめたいと<br>思っています 御批評のお言葉を頂きた<br>いと思ひます」、「由起 昭和廿一年九月」<br>の記載有り。執筆者「伊原しげ子」と明記。 |
| 140 | 夢のあとに       | 由起しげ子   | ナシ      | 400字×5枚 鉛筆                |   |
| 141 | リラの季節(以下欠落) | (由起しげ子) | ナシ      | 200字×16枚 ペン               | 1枚目破損のため「リラの季節」以下の表題<br>不明。   |
| 142 | れん子         | 由起しげ子   | ナシ      | 400字×68枚 ペン・青鉛<br>筆       |   |

#### 脚本

|     |       |         |    |                |  |
|-----|-------|---------|----|----------------|--|
| 143 | 風の中の男 | (由起しげ子) | ナシ | 400字×32枚 ペン・鉛筆 | 脚本(ラジオドラマ)<br>放送日:1961年12月3日<br>(印刷物146参照) |
| 144 | 北風の笛  | 由起しげ子   | ナシ | 400字×86枚 ペン    | 脚本(ラジオドラマ) [1950年]                         |
| 145 | 西瓜    | 由起しげ子   | ナシ | 400字×15枚 ペン    | 脚本(ラジオドラマ)<br>放送日:1965年8月21日<br>(印刷物162参照) |
| 146 | 夜の白い花 | (由起しげ子) | ナシ | 400字×27枚 ペン    | 脚本(ラジオドラマ)<br>放送日:1960年11月29日              |